



No.134

平成19年 7月15日発行

# 路材協会報

路面標示材協会

東京都千代田区神田佐久間町2-13(深津ビル)

〒101-0025 Tel(03)3861-3656

Fax(03)3861-3605

## 目 次

就任ご挨拶	会長 中島 浩治	1
平成19年度役員一覧	事務局	3
平成19年度運営計画	事務局	4
路面標示材の耐久性に関する一考察	森 昌之	6
平成19年5月末の道路交通事故死者について	事務局	14
事務局便り・余滴		16



## 就 任 ご 挨 拶

会長 中島 浩治

平成19年度定時総会において役員改選の結果、会長という大役を務めさせていただくことになり、誠に身の引き締まる思いでございます。

わが国の経済は、外需と為替差益による企業の好調さから、設備投資の増加と雇用情勢や所得環境の改善により、引き続き景気回復基調を維持しておりますが、私ども業界を取巻く環境は、公共事業の減少に伴う低価格競争により非常に厳しい環境が続いており、最近の原油高による原材料の高騰がさらにその拍車をかけている状況です。

しかしながら、第8次交通安全基本5ヵ年計画では、「平成24年までに交通事故死者数を

5,000人以下とし世界一安全な道路交通の実現を目指す」を基に、現在多くの施策が展開され、昨年の交通事故死者数は、年間6,352人（前年比519人の減少）にまで減少し、路面標示においても、あんしん歩行エリアの設置（カラー舗装・一時停止等）、路面標示等の高輝度化（高輝度道路標示）、事故危険箇所対策の実施（区画線の高輝度化・横断歩道及び停止線の塗替え・右折同流明確化等）など数多く寄与しております。

一方、行政における地方予算削減の中、現状では老朽化した交通安全施設が多数存在していることもあり、平成20年度から5年間を実施期間とする次期の社会資本整備重点計画においては、路面標示を含めた大量更新の検討も始まっており、今後の路面標示は、環境にやさしく且つ大量更新時代に向け、更新単価を下げるための仕様・施工方法の見直し、低コストで高い効果の得られる対策が望まれております。

路面標示は、自動車を運転する上で、欠かせない情報であり、交通安全の面から「安全・安心」に大きく貢献しております。路面標示材協会も今年で設立34周年を迎え、交通の安全を通じて、社会に貢献してまいりました。

当協会活動としては環境・費用対効果をキーワードに、「より安全・より安心な」路面標示の開発・提案により交通安全に貢献していく所存であります。

平成19年度の当協会運営の基本活動テーマは、別掲のとおり・・・

- 1) 路面標示（道路標示・区画線）設置の充実化を目指し、変革の時代に即した路面標示材の品質・技術の向上と需要の開拓。
- 2) 環境対策型路面標示用塗料の啓蒙活動
- 3) 会員相互の技術力向上発展

などではありますが、これらの計画を遂行するにあたり、私は、関連業界との連携をより強くし、当協会および業界発展のため全力を尽くす所存であります。何かと至らぬ点が多々あると思いますが、関係各位のご指導ご鞭撻を賜り責務に努めますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

（信号器材株式会社 取締役生産本部長）

## 平成19年度 役員一覧（路面標示材協会）

会 長	中 島 浩 治	（信号器材株）
副 会 長	高 村 英 二	（神東塗料株）
専 務 理 事	種 田 明 政	（路面標示材協会）
理 事	増 田 眞 一	（アトムクス株）
	堀 憲 夫	（大崎工業株）
	石 川 雅 和	（株キクテック）
	吉 川 治	（積水樹脂株）
	平 本 光 雄	（太洋塗料株）
	廣 田 稔 男	（株トウペ）
	石 塚 昇	（日本ライナー株）
	倉 持 実	（日立化成工材株）
	小 西 陽	（富国合成塗料株）
	藤 木 秀 之 輔	（藤木産業株）
	井 上 幸 久	（レーンマーク工業株）
監 事	藤 谷 明 文	（日立化成工材株）
	川 合 多	（神東塗料株）

---

### 委員会関係

業務委員長	赤 羽 芳 彦	（信号器材株）
副委員長	落 合 鉄 也	（株キクテック）
技術委員長	小 川 博 巳	（アトムクス株）
副委員長	小 林 幸 男	（日立化成工材株）

# 平成19年度 運営計画

## 経営環境の見通しと運営の基本

わが国の今年度の経済成長見通しは、輸出は、米国向けが一部鈍化するも、アジア向けなどが好調を見込まれることと、個人消費は引き続き底堅く、平成19年度には景気の牽引役になるなどから、前年度比約2.1%強のプラス成長（民間調査機関）と予測されている。

しかしながら、昨年来の原油価格の高騰は、原材料への影響ばかりでなく日本の経済活動に対する重要な懸念材料であり、今後も原油高が続くことの予測から、大変厳しい状況下にある。

また、私共に関係する平成19年度道路関連予算をみると、道路整備が前年比96%、道路環境整備が前年比99%で、平成18年度より削減されている。官公庁からの情報でも、多くの地方自治体は、交付金の減額、定年退職者の増大などの理由で、地方財政は依然として厳しい状況下であり、標識・標示業界の予算は急激に悪くなる可能性が高いと予測している。

一方、平成18年の道路交通事故は、関連諸官庁の努力に加え、法改正による効果などから死者数6,352人（前年比-519人）と減少した。しかし、他方では、事故発生件数、負傷者数は約100万人を超える状況が続いており、特に高齢者の事故の増加は、歩行・自転車乗用中の死者の6割が高齢者（交通事故死者数全体の17%）が占めているという状況である。

この道路交通事故による経済的・社会的損失は大変大きいので、多角的改善が望まれるとともに、これからの社会環境に合せ「高齢化社会」「環境保全」をより重視した効果的な交通安全対策、安全施設の一層の充実化が望まれるところである。

私どもは、交通環境への安全・安心を目指し費用対効果が高いと言われている「いつも、良く見える路面標示（路面標示ワイド化、高視認性化など）」を必要なところに設置することを目指し、併せて、社会的ニーズに応えるべく環境対策型路面標示用塗料（無鉛、水性）の一層の品質・技術の向上を図ると共に、交通安全に貢献するために、今後多くの課題に取り組まなければならない。

## 2007年 事業活動計画

### 1. 運営基本活動テーマ

- 1) 路面標示（道路標示及び区画線）設置の充実化を目指し、変革の時代に即した路面標示材の品質・技術の向上と需要の開拓。
- 2) 環境対策型路面標示用塗料の啓蒙・推進活動。
- 3) 会員相互の技術力向上。

## 2. 総務的事項

- 1) 理事会ほか会議体は効率的に行い、併せて活性化に努める。
- 2) 経費の節減に努めると共に費用の効果的使用をはかる。
- 3) その他。

## 3. 調査、統計業務

- 1) 路面標示用塗料の生産・出荷統計の実施。
- 2) 路面標示（塗料）の需要調査の実施。
- 3) その他。

## 4. 広報業務

- 1) 路材協会報は、年3回発行。
- 2) 環境対策型路面標示用塗料（無鉛、水性）の啓蒙・普及活動。
- 3) 関連団体との連携及び情報交換活動。
- 4) 路材協のホームページ活用活動。
- 5) その他。

## 5. 技術業務

- 1) 社会ニーズ適応の環境対策型路面標示用塗料（無鉛）の品質・技術の向上。
- 2) 路面標示の耐久性（すべり抵抗値の基準・塗替え基準等）についての調査・研究。
- 3) 新 JIS K 5665 改正への推進と発効に伴うガイドブックの作成。
- 4) カラー標示の仕様書の作成（色・使用区分等）。
- 5) 関連機関への参画並びに協力、及び、技術調査等の実施
- 6) 外部団体との技術会議等の開催。
- 7) その他。

## 6. 研修業務

- 1) 関連業界技術陣との研究、会合等への参加。
- 2) 関係方面からの技術講師の要請には、可能な範囲で対応。
- 3) 関連業種の知見向上へ見学会等の実施。

## 7. その他

官公庁関係部署ほか関連の機関や団体などとの接触に努め、路面標示関係のニーズや動向に関する情報交換、並びにその推進。

# 路面標示材の耐久性に関する一考察

森 昌之

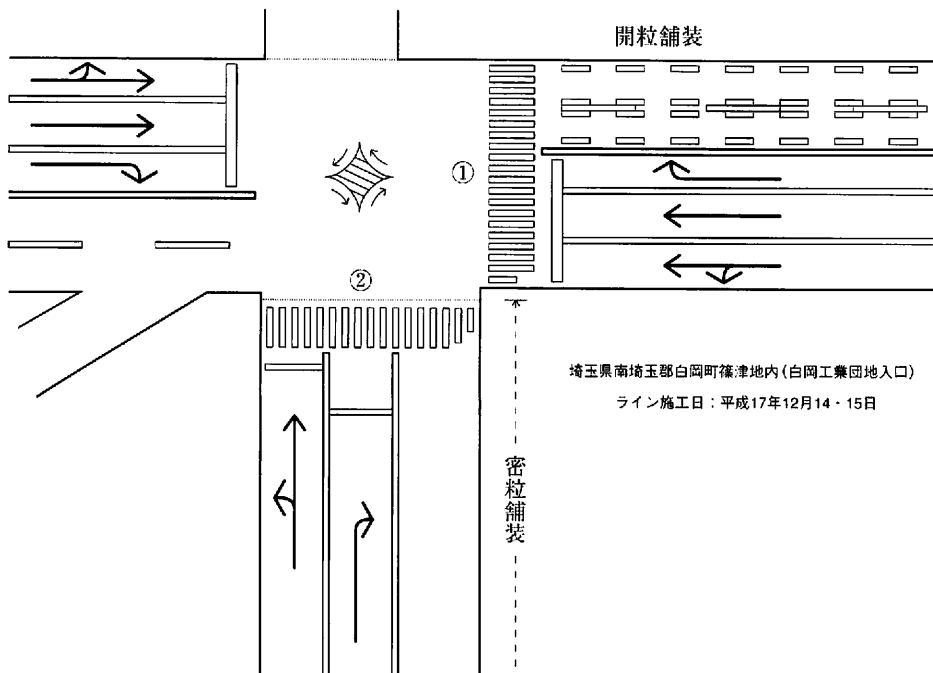
## 1. はじめに

路面標示（区画線及び道路標示）は、道路交通の安全と円滑化及び道路構造物などの保全を図るための、重要な交通安全施設であることは周知のとおりである。この路面標示は常に車両や歩行者などの通行により摩耗を常に受けるため、場所によっては、1年以内に標示機能を失う場合も見受けられる。

本稿では、交通量の比較的多い交差点において、溶融式路面標示を1年間追跡調査をしたので、その状況をここに報告する。今まで実路面における路面標示を定期的に調査した資料がさほどなく、交通量と路面標示の摩耗との関係、並びに塗り替え時期の判断基準の参考となれば幸いである。

## 2. 調査内容

①調査場所 埼玉県南埼玉郡白岡町篠津地内県道3号線（さいたま栗橋線）



交差点図

②調査時期 施工直後より1ヶ月ごとに定点観察し、1年間継続する。

調査時期	調査日	調査時期	調査日
施工直後	平成17年12月15日	7ヶ月後	平成18年7月23日
1ヶ月後	平成18年1月18日	8ヶ月後	平成18年8月24日
2ヶ月後	平成18年2月21日	9ヶ月後	平成18年9月23日
3ヶ月後	平成18年3月21日	10ヶ月後	平成18年10月21日
4ヶ月後	平成18年4月24日	11ヶ月後	平成18年11月26日
5ヶ月後	平成18年5月25日	12ヶ月後	平成18年12月23日
6ヶ月後	平成18年6月24日		

③調査対象と方法

- ・昼間デジタルカメラにて定位置で写真撮影をする。(全景・接写)
- ・横断歩道・停止線・車線境界線・減速マーク・矢印の各標示。
- ・交通量を調査し、交通量と摩耗の関係を把握する。(交差点の右左折車の台数も調べる)
- ・目視により摩耗の程度を観察する。

3. 調査場所の交通量について

交通量については、埼玉県統計年鑑の県道路環境課「道路交通量図」より、平成11年分及び平成17年分を参考とした。又調査場所の右左折車両について、車両台数をチェックした。

単位：台

調査年度	調査時間	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計
平成11年	24時間	19787	104	4962	14780	39633
平成17年	12時間	15611	160	3901	8036	27708
平成17年	24時間	23684	207	5168	13768	42827

調査場所：県道3号線（さいたま栗橋線）南埼玉郡白岡町大字篠津字上篠津

車両台数は上下線の合計。調査時間は平日の午前7時～午後7時(12時間)と午前7時～午前7時(24時間)。

右左折車両台数

単位：台

調査時間帯	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	内右折車
8：00～9：00	260	6	64	140	470	141
9：00～10：00	143	4	59	161	367	130
10：00～11：00	157	1	73	180	411	161
合計	560	11	196	481	1248	432

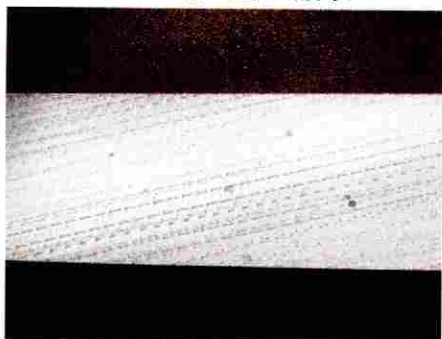
調査日：平成18年10月20日

#### 4. 経時変化

密粒舗装② 施工直後 (全景)



施工直後 (接写)



8ヶ月後



8ヶ月後 (接写)



4ヶ月後



4ヶ月後



12ヶ月後



12ヶ月後

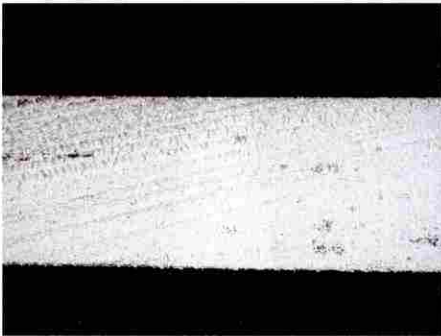




開粒舗装① 施工直後（全景）



施工直後（接写）



8ヶ月後



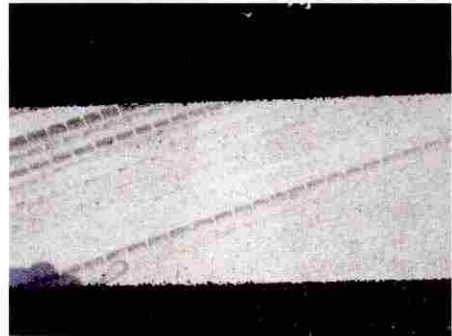
8ヶ月後（接写）



4ヶ月後



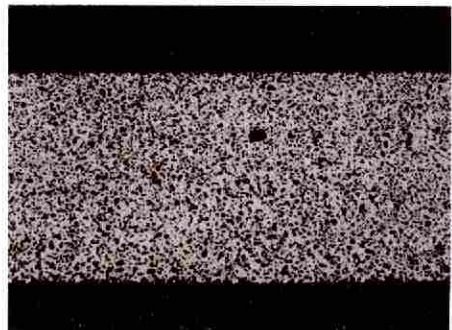
4ヶ月後



12ヶ月後



12ヶ月後



停止線 開粒舗装（全景）

施工直後



4ヶ月後



8ヶ月後



12ヶ月後

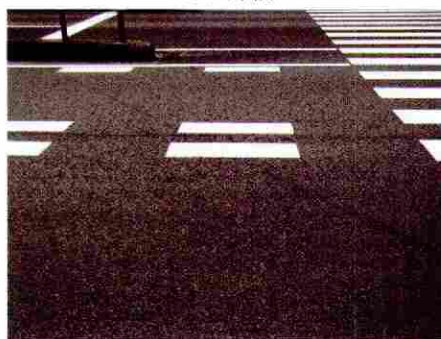


減速マーク 開粒舗装（全景）

施行直後



4ヶ月後



8ヶ月後



12ヶ月後



## 5. 観察結果

今回調査した交差点は、舗装のオーバーレイによりラインも新規に施工されたため、施工直後から調査することができた。また、2箇所の横断歩道うち、1箇所が開粒舗装もう1箇所が密粒舗装と、表面状態の違う路面を同時に調査することができた。

ライン上の通過車両を調べるにあたり、埼玉県統計年鑑の平成11年と平成17年の交通量調査データを参考にするとともに、右左折車両の台数については現場調査を実施した。

通過車両調査のデータに基づき、下表のような仮説を立てた。平成11年度と平成17年度のデータを平均化し1車線を通過する車両台数を想定した。右左折車両台数については調査データが少ないため、12時間と24時間のデータを参考に車両台数を想定した。

	開粒舗装のライン上を通過する 車両台数	密粒舗装のライン上を通過する 右左折車両台数
1日	10,300	6,800
1ヶ月	309,000	204,000
4ヶ月	1,236,000	816,000
8ヶ月	2,472,000	1,632,000
12ヶ月	3,708,000	2,448,000

上記の表はあくまでも仮説としてであり、車両の大きさ、通行する位置等の違いにより通過するすべての車両がライン上の同じ位置を通過するものではないため、あくまで車線通過台数と考えたい。

### a、密粒舗装の横断歩道（②の横断歩道）

今回の調査で最もラインの摩耗が激しい横断歩道で、ほとんどが右左折車両の通過であり直進車両は1日100台程度と非常に少ない。施工後3ヶ月頃から下地のアスファルトが一部見られるほど摩耗が進行した。8ヶ月で横断歩道全体が摩耗し、12ヶ月後には道路端とセンター部分を残してほとんど消えている状態である。（昼間でも横断歩道としての視認性は非常に悪い）

### b、開粒舗装の横断歩道（①の横断歩道）

開粒舗装の横断歩道は4車線道路に設置されており、歩道寄りの車線はトラックの左折車が非常に多い。施工後4ヶ月頃から左折車の影響と思われる摩耗が見られ、8ヶ月頃には歩道寄りのラインにかなりの摩耗がみられた。開粒舗装のため骨材の隙間に入った溶融材料により、昼間はラインとしての視認性は十分にあるが、夜間の視認性には疑問が残る。12ヶ月後には、密粒舗装のラインの視認性との違いが大きく現れた。

c、開粒舗装の停止線

停止線の設置場所を通過する車両は、ほぼ直進的な動きのため停止線の一部分の摩耗となっている。約8ヶ月経過頃より下地の骨材が見えはじめ、12ヶ月ではわだち部分はかなり摩耗した。しかし停止線全体としてはラインの機能は十分に有している。

d、開粒舗装の減速マーク・矢印

全体的には摩耗は少ないが、横断歩道寄りの減速マークについては、右折車の影響で摩耗が早期に進行した。矢印については、車両にほとんど踏まれることが無く、摩耗の程度はかなり少なかった。

6. まとめ

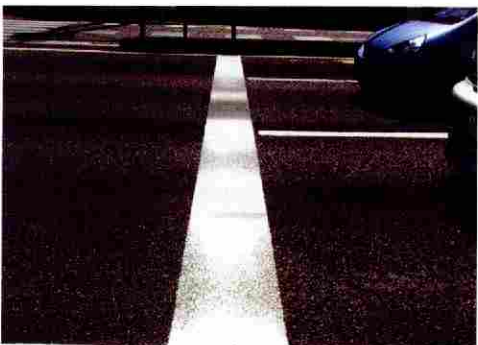
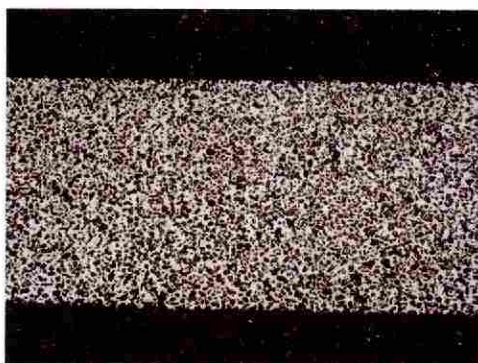
今回比較的交通量の多い交差点での定期的観察を通じ以下のことが分かった。

- a、密粒舗装の横断歩道は、摩耗が進行すると極端に視認性が低下する。特に右左折車の多い横断歩道は10ヶ月前後での塗り替えが望まれる。
- b、開粒舗装の横断歩道は、全体に摩耗が進行しても骨材の隙間に入り込んだ塗料により昼間の視認性は比較的良好である。12ヶ月を過ぎると骨材の露出度が多くなり、外観上にも塗り替えを検討する時期に入っていると考ええる。
- c、今回の調査では、夜間の写真撮影や反射輝度の測定は実施しなかったが、今後摩耗度合と視認性を調査していきたい。



尚、17ヶ月（平成19年5月20日）の写真に掲載しますので参考にしていきたい。

17ヶ月後の状況



(株キクテック 生産本部関東工場長 路材協技術委員)

# 平成19年5月末の道路交通事故死者数について

(警視庁交通局交通企画課資料より)

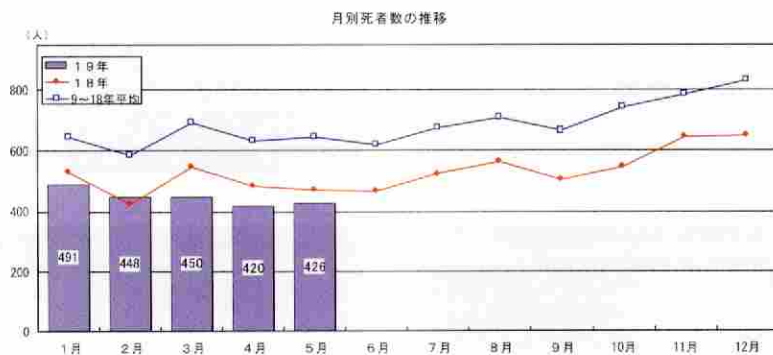
事務局

## 1 平成19年5月中の交通事故発生状況

5月中に発生した交通事故は、

○ 発生件数 (概数)	70,264件	(1日平均 2,267件)
前年同期比	-2,364件	(-3.3%)
うち死亡事故件数 (確定数)	420件	(1日平均 13.5件)
前年同期比	-36件	(-7.9%)
○ 死者数 (確定数)	426人	(1日平均 13.7人)
前年同期比	-45人	(-9.6%)
○ 負傷者数 (概数)	87,674人	(1日平均 2,828人)
前年同期比	-2,832人	(-3.1%)

で、前年同期と比較すると、発生件数、死者数、負傷者数のいずれも減少している。



## 2 平成19年5月末の交通事故発生状況

5月末までに発生した交通事故は、

○ 発生件数 (概数)	335,583件	(1日平均 2,222件)
前年同期比	-23,006件	(-6.4%)
うち死亡事故件数 (確定数)	2,175件	(1日平均 14.4件)
前年同期比	-215件	(-9.0%)
○ 死者数 (確定数)	2,235人	(1日平均 14.8人)
前年同期比	-221人	(-9.0%)
○ 負傷者数 (概数)	416,277人	(1日平均 2,757人)
前年同期比	-27,213人	(-6.1%)

で、前年同期と比較すると、発生件数、死者数、負傷者数のいずれも減少している。

都道府県別交通事故発生状況（概数）

5月末

管区	都道府県	発生件数			死者数				負傷者数			
		増減数	増減率		増減数	増減率	順位	増減数	増減率			
北海道	札幌	6,190	-1,377	-18.2	52	8	18.2		7,652	-1,920	-20.1	
	函館	812	-149	-15.5	7	-1	-12.5		1,039	-177	-14.6	
	旭川	972	-247	-20.3	15	5	50.0		1,212	-328	-21.3	
	釧路	910	-103	-10.2	15	-3	-16.7		1,111	-169	-13.2	
	北見	394	-20	-4.8	4	-5	-55.6		551	2	0.4	
	計	9,278	-1,896	-17.0	93	4	4.5	7	11,565	-2,592	-18.3	
東北	青森	2,635	-418	-13.7	33	13	65.0	26	3,367	-514	-13.2	
	岩手	2,171	139	6.8	39	15	62.5	23	2,688	90	3.5	
	宮城	5,353	-29	-0.5	45	0	0.0	16	6,844	31	0.5	
	秋田	1,670	-139	-7.7	32	12	60.0	28	2,130	-128	-5.7	
	山形	3,374	-358	-9.6	26	10	62.5	36	4,301	-390	-8.3	
	福島	5,064	-388	-7.1	44	-7	-13.7	19	6,395	-565	-8.1	
	計	20,267	-1,193	-5.6	219	43	24.4	***	25,725	-1,476	-5.4	
関東	東京	28,085	-2,385	-7.8	112	14	14.3	3	31,536	-2,849	-8.3	
	茨城	8,335	-905	-9.8	79	-14	-15.1	9	10,816	-1,181	-9.8	
	栃木	5,801	-411	-6.6	61	-5	-7.6	13	7,450	-594	-7.4	
	群馬	8,838	-566	-6.0	31	-27	-46.6	29	11,234	-658	-5.5	
	埼玉	18,295	-1,541	-7.8	96	-20	-17.2	5	22,410	-1,939	-8.0	
	千葉	12,503	-1,033	-7.8	97	-17	-14.9	4	15,522	-1,441	-8.5	
	神奈川	20,762	-1,236	-5.6	96	-6	-5.9	5	24,604	-1,728	-6.6	
	新潟	4,943	-595	-10.7	56	-9	-13.8	14	6,201	-687	-10.0	
	山梨	2,752	12	0.4	20	-3	-13.0	43	3,707	86	2.4	
	長野	4,857	-590	-10.8	44	-2	-4.3	19	6,285	-729	-10.4	
	静岡	15,504	-488	-3.1	67	-30	-30.9	11	19,927	-716	-3.5	
		計	102,590	-7,373	-6.7	647	-133	-17.1	***	128,156	-9,587	-7.0
	中部	富山	2,766	-122	-4.2	27	2	8.0	34	3,268	-212	-6.1
		石川	2,885	-263	-8.4	24	1	4.3	37	3,533	-381	-9.7
福井		1,855	-26	-1.4	27	2	8.0	34	2,244	-61	-2.6	
岐阜		5,389	-262	-4.6	65	6	10.2	12	7,318	-278	-3.7	
愛知		22,354	-1,039	-4.4	114	18	13.6	2	27,451	-1,219	-4.3	
三重		5,314	-99	-1.8	40	-24	-37.5	21	7,049	-184	-2.5	
		計	40,563	-1,811	-4.3	297	-31	-9.5	***	50,863	-2,335	-4.4
近畿	滋賀	3,753	-315	-7.7	31	-5	-13.9	29	5,001	-358	-6.7	
	京都	7,070	-298	-4.0	39	-10	-20.4	23	8,571	-476	-5.3	
	大阪	23,614	-1,638	-6.5	121	20	19.8	1	28,200	-2,139	-7.1	
	兵庫	15,486	-1,179	-7.1	86	-8	-8.5	8	19,029	-1,618	-7.8	
	奈良	3,120	-158	-4.8	21	-4	-16.0	42	4,001	214	5.7	
	和歌山	3,144	-174	-5.2	23	2	9.5	38	3,952	-153	-3.7	
	計	56,187	-3,762	-6.3	321	5	-1.5	***	68,754	-4,530	-6.2	
中国	鳥取	1,017	-144	-12.4	15	-7	-31.8	47	1,348	-166	-11.0	
	島根	1,102	-1	-0.1	16	2	14.3	46	1,259	-39	-3.0	
	岡山	7,768	-414	-5.1	45	-12	-21.1	16	9,981	-381	-3.7	
	広島	7,860	-383	-4.6	45	-7	-13.5	16	9,955	-532	-5.1	
	山口	3,630	-146	-3.9	52	11	26.8	15	4,471	-158	-3.4	
	計	21,377	-1,088	-4.8	173	-13	-7.0	***	27,014	-1,276	-4.5	
四国	徳島	2,421	-164	-6.3	23	-1	-4.2	38	2,998	-238	-7.4	
	香川	5,002	-185	-3.6	28	-16	-36.4	32	6,247	-321	-4.9	
	愛媛	4,124	-131	-9.5	40	3	8.1	21	4,984	-611	10.9	
	高知	1,897	-47	-2.4	22	0	0.0	41	2,220	-45	-2.0	
	計	13,444	-827	-5.8	113	-14	-11.0	***	16,449	-1,215	-6.9	
九州	福岡	18,732	-2,011	-9.7	76	-35	-31.5	10	24,528	-563	-2.2	
	佐賀	3,465	-156	-4.3	28	7	33.3	32	4,621	-235	-4.8	
	長崎	3,224	89	2.8	17	-17	-50.0	45	4,202	216	5.4	
	熊本	4,590	-303	-6.2	33	-15	-31.3	26	5,885	-382	-6.1	
	大分	2,801	-154	-5.2	23	-1	-4.2	38	3,681	-180	-4.7	
	宮崎	3,925	-114	-2.8	34	-1	-2.9	25	4,807	-240	-4.8	
	鹿児島	4,516	118	2.7	30	-15	-33.3	31	5,525	207	3.9	
	沖縄	2,539	-140	-5.2	19	-9	-32.1	44	2,966	-176	-5.6	
	計	43,792	-2,671	-5.7	260	-86	-24.9	***	56,215	-1,353	-2.4	
合計		335,583	-23,006	-6.4	2,235	-221	-9.0	***	416,277	-27,213	-6.1	

注：増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

## 事務局便り

1. 今年度の定時総会は5月17日宇都宮グランドホテルで開催し、平成18年度の活動報告及び決算報告、並びに、平成19年度の運営計画及び予算案を原案通り、承認・決定しました。また役員改選が行われ、新しく、会長には中島浩治氏、副会長には高村英二氏が選任されました。

総会終了後、同ホテル華の間で、正会員、賛助会員出席のもと懇親会を開催しました。翌日は、恒例のゼブラーズ会コンペを開催しました。

## 2. 会員の異動

### (1) 正会員

- 信号器材㈱の業務委員は、斎藤明氏から赤羽芳彦氏(営業本部営業企画室長)に、また、技術委員は、高木嗣朗氏から有吉正裕氏(開発本部技師)にそれぞれ代わりました。(5月)
- 藤木産業㈱の技術委員は、田中義記氏から小倉邦久氏(技術検査課)に代わりました。

### (2) 賛助会員

- ガラスビーズ協会の会長が協会発足時から続いていたポッターズ・パロティーニ㈱から今回初めて交代となり、新会長はユニチカ㈱の大阪本社・ガラスビーズ事業部長清水芳樹氏に代わりました。(5月)

## 3. 委員会活動

### ○業務委員会

- ・業務委員長が落合鉄也氏から赤羽芳彦氏に代わりました。(5月)
- ・無鉛黄色塗料の各社の製品・価格が、「建設資材情報」の3月号に掲載され、またホタテ貝殻入り路面標示塗料の各社製品・価格が「建設物価」の6月号に掲載されました。

### ○技術委員会

- ・技術委員長は高木嗣朗氏から小川博巳氏に代わりました。(5月)

## 余滴

民間調査機関によれば、日本の経済は平成19年度は、前年比約2.1%強のプラス成長が予想されていますが、昨年来の原油価格の高騰は、原材料の高騰への影響だけでなく、日本経済活動にたいする重要な懸念材料であり、今後も原油高が続くことが予測されるため、大変厳しい状況下にあります。また、地方財政は依然として厳しい状況下にあるため、当業界にとっては受注工事の減少や・入札価格の低下等が続くことが予測されます。

さらには、これからの社会環境に合わせ「高齢化社会」「環境保全」をより重視した、効果的な交通安全対策、安全施設の一層の充実化が望まれます。

このような状況にあっても、当協会活動である、交通環境への安全・安心のための「いつも、良く見える路面標示(路面標示のワイド化、高視認性化など)」の設置促進とともに、今後とも絶やまない品質向上を図ることにより、交通安全に貢献して参りたいと思います。

路面標示材協会 TEL: 03-3861-3656 FAX: 03-3861-3605